

活動地

マレーシア ボルネオ島サラワク州 & 半島部クダ州



クダ州ムルボック湿地保護林
マングローブ林再生プロジェクト

サラワク州アペン国立公園
青少年研修プログラム



サラワク州「青少年プログラム」

熱帯林再生のための植林活動を実施し、2016年末に国立公園（永久保護区）となった、サラワク州スリアン地区アペン国立公園内にある「木下の森」において、地域の子供たちや日本とマレーシアの青年たちが、森林保全の大切さを学ぶ『青少年研修プログラム』を実施しています。

「木下の森」にて、地域の子供たち（小中高校生）、教員、大学生、村人を招き、植林・メンテナンス作業体験や、トレッキングなどにより森林保全の大切さを学ぶプログラムを年間2回実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止の活動制限や規制が行われたため、「木下の森」に子供たちが参加するプログラムは実施できませんでしたが、植林活動、マスク寄贈、小学校における絵画コンテストなどを実施しました。

「木下の森」で植林活動

「木下の森」にて、地域の村人の参加を得て、1,600本（4hba）の植林とメンテナンス作業を行いました。フタバガキ科在来種を中心に、村の女性が育てた果樹の苗木も植林しています。

植林樹種は以下の通りです。

- ①Kembang Semangkok / Scaphium macropadum
- ②Kapur Bukit / Dryobalanops beccarii
- ③Bintangor batang putih / Calophyllum lowei
- ④Durian / Durio zibethinus
- ⑤Cempadak / Artocarpus heterophyllus
- ⑥Rambutan / Nephelium lappaceum

* ④～⑥は果樹

サラワク州森林公社と協力協定書調印

2020年11月25日、「木下の森」があるアペン国立公園を管轄する政府機関のサラワク州森林公社と協力協定書に調印しました。

2021年2月20日、サラワク州森林公社ズルキプリーCEOほか幹部がアペン国立公園を訪問し、「木下の森」の活動状況を視察しました。

「木下の森」活動地域の小中高校へマスクを寄贈

「木下の森」活動地域にある小中高校へ、日本から送ったマスク18,000枚を寄贈しました。マレーシアでは学校、役所、店舗等でのマスク着用が義務となりましたが、村落地域ではマスク入手が困難なため、マスクの配布は大変喜ばれています。今後も継続する予定です。

小学校で「木下の森」絵画コンテストを実施

2020年3月に「木下の森」におけるプログラムに初参加したバライ・リンギン小学校で、「絵画コンテスト」を行いました。

小学校で環境教育プログラム

「木下の森」活動地域の小学校で、環境教育プログラム実施を計画し、準備を進めています。

活動の様子



2007年に植えた木が大きく成長



育苗と植栽木のメンテナンスの様子



村の女性が育てた果樹を植林



植林ラインづくり作業



植林用苗木を運搬



村人による植林作業の様子



1,600本を植林



新たな植林エリアに看板を設置



「木下の森」をサラワク州森林公社CEOらが視察(2021年2月)



学校内でのプログラム開催へ向け、学校と政府機関と協議(2020年9月)



「木下の森」があるアペン国立公園を管轄するサラワク州森林公社と協力協定を調印(2020年11月)



サラワク州森林局で「木下の森」活動について報告(2020年11月)



日本から送ったマスクを配布準備



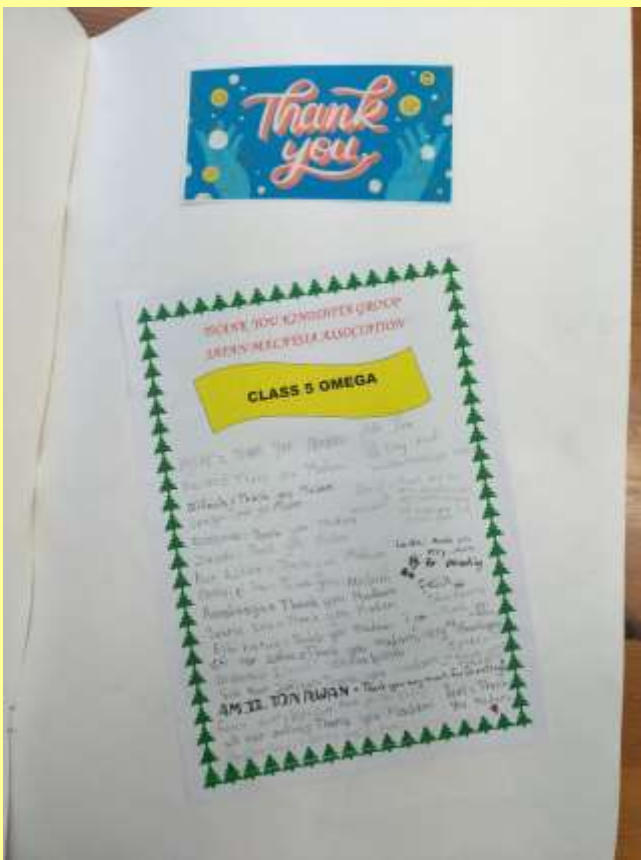
「木下の森」活動地域の小学校にマスクを寄贈(2020年7月)



「木下の森」活動地域の小学校へマスクを寄贈(2020年9月)



「木下の森」活動地域の小学校へマスクを寄贈(2021年3月)



マスクを寄贈した小学校からのお礼メッセージ